

こもれひ

氷見・こもれひの里広報紙

第73号

令和2年9月1日



夏の会 2020 開催!!!

【行事予定について】
9月～11月までの行事予定は、現在未定となっております。決まり次第、お伝えしていきますのでよろしくお願います。



ご協力 (順不同・敬称略)

- ・谷内 和子
- ・釣 幸子
- ・北澤 晃
- ・干場 弘美
- ・石見 淳子

ご寄付 (順不同・敬称略)

- ・久保 一男
- ・民谷 万由美



日頃からのこもれひの里へのご協力・ご寄付感謝申し上げます。

社会福祉法人 野の草会

新規職員募集 こもれひの里



私達と一緒に働きませんか？

社会福祉法人 野の草会 こもれひの里では、私たちと一緒に働いてくれる職員を募集しています。

興味のある方は一度こちらの電話番号までご連絡下さい。

TEL: 経営管理課(0766)74-3001

詳細はHPに記載してありますので、QRコードを読み取ってご覧下さい。



【発行】

社会福祉法人 野の草会
こもれひの里
こもれび作業所
こもれびの里保護者会
〒935-0025 富山県氷見市鞍川1855
TEL(0766)74-3001
FAX(0766)74-3101
Eメール shien@n-komorebi.or.jp
ホームページアドレス
<http://www.n-komorebi.or.jp/>

【編集後記】

7月の長い梅雨が明け、本格的な夏がやってまいりました。猛暑日が続き、世間のニュース番組では新型コロナウイルス関連と、熱中症対策の話題が大半を占めている印象です。

新型コロナウイルス感染症対策が始まり、約半年が経過としております。感染対策の物品が世間にある程度復旧し、新しい生活様式で予防しながらの暮らしが始まりましたが、一向に収束へ向かいそうありません。

今一度、一人ひとりが意識をしていく必要があると感じています。一人の意識が周囲の一人へと伝わり、それがまた次へ繋がっていく、そんな良い連鎖が続いて欲しいと思っています。

(H-T)

こもれび製品紹介

こもれび作業所手芸班では、5人のメンバーとスタッフが協力して手作り小物を製作しています。メンバーは刺し子・パッチワーク・編み物・布地の裁断・ラッピング等、それぞれのペースに合わせて毎日作業を行っています。

特に刺し子の作業では、メンバー自ら好きな図案と刺繍糸を選び、どこにどの糸を使うか、考えながら刺していけます。メンバーの自己決定により、色とりどりのカラフルなものから2色使いのシンプルなものまで、個性豊かな製品が出来上がります。他にもアクリルタワシやコースター、メガネケース等色々な小物たちを製作しています。

刺し子布巾



色んな絵柄、色合いがあります。
綿 100%のやさしい手触り！



アクリルたわし



水だけで汚れが落ちる噂のたわし！
ポケット型やループ付きも！

メガネケース



キルト綿入りで厚みがあります。
ペンケースやメイク道具を入れても◎

マスクや通帳お好みの用途で。
仕分けもしやすい！



マルチケース

毛糸であなたの
お尻を守ります。



座布団

短めタイプ。
袖の汚れ防止に役立ちます！



腕カバー

コースター

パッチワークの
カラフルなコースター！

こちらの5ヵ所にて
販売しております！

- ・氷見市役所 1F 売店
- ・コネクトショップタブの木
- ・おらっちゃんの店
- ・母々座
- ・はーとふる安請
- ・民宿 青柳 (敬称略)

これからもより一層たくさんの方に知っていただき手に取っていただければ、ひと針ひと針心を込めて製作していきます。近くにお立ち寄りの際は、ぜひ一度ご覧下さい。

初!! こもれびの里夏の会開催!!



今年度は新型コロナウイルスの影響で、設立当初から長く続いていた夕涼み祭(納涼祭含む)が中止となりました。一年の中でもメンバーと保護者が楽しく過ごすことが出来る、メンバーが楽しみにしている行事の内の一つでもありません。中止という非常に残念な決断となりましたが、メンバーが楽しむことが出来る、夕涼み会に代わる夏のイベントを実施しようという今回は企画に至りました。

今回は夏の会実施にあたり、新型コロナウイルス感染対策の三密を防ぎながらメンバーに楽しんでもらおうと、各棟や食堂へスタッフが出し物を披露しに回りました。

計4名のスタッフによる出し物の演目は、主に歌・手品・小島よしおでした。ギターが特長な角スタッフと歌とお喋りが上手な泊スタッフによる引き語り演奏と歌。人前で数々の披露をしてきた強靱なハートの持ち主利波スタッフと、補佐をする美濃スタッフによる手品。また、利波スタッフによる小島よしおの芸も大トリで披露し、各会場メンバーとスタッフの温かい笑いに包まれていました。



この日の昼食はこもれびでのご飯ではなく、入所男性・入所女性・通所でそれぞれのお弁当をいただきました。入所男性メンバーは鮎処きよ水様、入所女性メンバーは創作工房ひみ様、通所メンバーはまこ弁様のお弁当をいただきました。園でお弁当を食べるだけでも、いつもと違った雰囲気もあり新鮮で、特別な一日になりました。

せない状況です。今後も感染対策として「新しい生活の様式」を、当面の間継続することになりそうです。それに伴って、自分たちの生活は以前に比べて制約・制限されることも色々と出てきています。日々の行動が制限されて、精神的にも疲弊・疲労が徐々に蓄積されている状況ですが、これを機に新しい挑戦を試してみたり、新型コロナウイルス流行の収束後の楽しみを考えたりと、「それぞれの自粛の仕方」を楽しんでみましょう。



こもれびの里もいつか通常通りに行事を開催し、皆様に会える日が来ることを楽しみにしています。